

## 1月23日（木）に格付投資情報センター（R&I）の発行体格付が公表 『AA-』（信用力は極めて高く、優れた要素がある）の格付維持！

大阪府内で賃貸住宅の提供などの事業を行う大阪府住宅供給公社(本社：大阪市中央区、理事長：堤 勇二、以下、公社)は、2020年1月23日（木）付で公表の格付投資情報センター（R&I）の発行体格付において「AA-」を維持しました。



画像提供：PIXTA

公社では、多様な資金調達方法により、より安定的で有利な資金を確保することを目的として債券を発行しています。債券発行による効果的な借入金の借り換え等により、2012年度末に約1700億円あった借入金を2018年度末には約1400億円にまで縮減を図りながら、12期連続で黒字を維持しています。2012年からこれまで計17回の大阪府住宅供給公社債券を発行しており、今後も市場のニーズと資金需要などを踏まえながら、安定的な経営をめざして、継続的な債券発行を実施していく予定です。

### ■ 公社の格付について

公社では、安定した収益を支えに財務状況が改善していることなどから、株式会社格付投資情報センター（R&I）による発行体格付が2018年10月31日に「A+」から「AA-」に引き上げられました。この度、2020年1月23日付で公表された格付においても、公社の発行体格付は「AA-」の格付維持とされました。格付の方向性は「安定的」とされています。

※格付符号及び定義等については、格付機関のWEBサイトをご参照ください。<https://www.r-i.co.jp/>

※公社の債券発行実績等IR情報については、公社WEBをご覧ください。

<https://www.osaka-kousha.or.jp/x-ir/index.html>



### ■ 格付理由（※格付投資情報センター NEWS RELEASE(R&I 2020.1.23 付)より抜粋）

- 大阪府が全額出資する特別法人
- 地方住宅供給公社の中では東京都に次ぐ全国2位の賃貸住宅の管理戸数を有し、安定した収益を支えに継続的に債務が減少している。
- 府の住生活基本計画において、住宅に関わる課題に即した事業を展開する公的団体として明記され、保有するストック資産を有効活用して様々な施策を実行する役割を担う。政策上の重要性は高く、新婚・子育て世帯、高齢者世帯に配慮した賃貸住宅サービスを府民に提供している。
- 2020年11月頃に2度目の住民投票（※注）が実施される見込みだが、可決されても府の住宅公社が存続する公算は大きいとみている。
- 賃貸住宅の建て替えを進めている。投資負担から以前に比べ債務の減少ペースは鈍るが、資本負債構成は今後も改善が進みそうだ。

※注）大阪府市統合（大阪都構想）にかかる住民投票のこと。

※ (株)格付投資情報センター NEWS RELEASE はこちらをご覧ください。

[https://www.ri.co.jp/news\\_release\\_cfp/2020/01/news\\_release\\_cfp\\_20200123\\_2001070501\\_jpn.pdf](https://www.ri.co.jp/news_release_cfp/2020/01/news_release_cfp_20200123_2001070501_jpn.pdf)



◆大阪府住宅供給公社概要

代表者 : 理事長 堤 勇二  
所在地 : 大阪市中央区今橋 2 丁目 3 番 21 号  
創 業 : 1950 年 6 月  
事業内容 : 賃貸住宅の管理事業、宅地管理事業、府営住宅の指定管理業務等  
基本金 : 3,100 万円 (全額大阪府出資)  
公社 WEB サイト : <https://www.osaka-kousha.or.jp/>



公社は、国連目標であり、2025 年大阪・関西万博が達成目標に掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現を目指しています。とりわけ、SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」および目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に向けて事業展開を行っており、関係機関と連携して様々な取り組みを進めています。